

予算	款	項	目	決算書	
	4	2	1	196	頁

目名
清掃総務費

事業名称
清掃総務事業

1. 概要

目的	一般廃棄物の適正処理の推進	対象	市民
事業概要	○一般廃棄物適正処理事業・・・小動物の死体処理数 43 件		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	一般廃棄物適正処理事業	処理件数(43件)	需用費	119	58			20	38	3
計				119	58	0	0	20	38	

2. 指標設定

成果指標	指標名	一般廃棄物適正処理	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			適切な住環境を保全するため			
活動指標	指標	a	回収回数	b		c		d
	数値	目標	随時	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
一般廃棄物適正処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a	回収回数	44 回	41 回	43 回
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市民の要望が多様多様になり、増加傾向に苦慮している。
対応（改善点等）
市民の要望の整理及び迅速な処理を行う必要がある。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

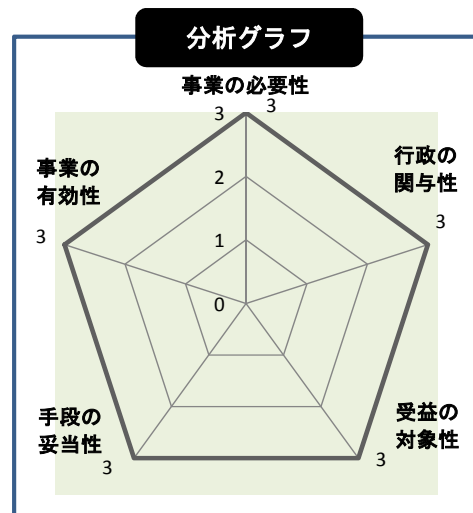
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		88	89	58	202
うち経常経費		88	89	58	202
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他		11	20	8
	一般財源	88	78	38	194
うち経常		88	78	38	194
事業費に係る人件費		860	859	872	887
事業費に係る人役		0.20	0.20	0.20	0.20

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を推進するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適正処理に努めること。